

ロシア関連メモ NO.34

メドベージェフ:「BRICs 諸国: 共通の目標－共通の行動」

1. 概要

4月15日から開催される第2回 BRICs サミットに先立ち、メドベージェフ大統領は4月14日、「BRICs 諸国: 共通の目標－共通の行動」と題する文書を公表した。

この文書は昨年6月の第1回 BRICs サミット以来の4カ国の協力の拡大の実績についてコメントするとともに、今後の協力を促進すべき領域を挙げ、BRICs のさらなる結びつきの強化と結束して国際的秩序形成に参画する必要性について言及したものである。

2. BRICs サミットの位置づけ

BRICs サミットは、2009年6月16日にロシアのエカテリンブルクにおいて第1回会議が開催され、世界経済において大きなシェアを持つに至った BRICs4 カ国が意思疎通を密接にして共通の立場を構築することを通じ、国際社会における影響力を強めることを目指すものである。

第1回サミットでは①G20を中心として世界経済・金融問題の解決に協力する、②国際金融機関の改革と新興国及び発展途上国の発言権の拡大、③自由貿易と投資環境の改善、④最貧国への援助促進、⑤持続可能な開発、⑥エネルギー政策における協力等を内容とする共同宣言が採択された。

今回のメドベージェフ大統領の文書では、第1回サミットで決定された分野においてサミット以降に推進されてきた協力内容や国連での共同歩調の事例及び民間ベースの交流の進展などの成果が強調され、さらなる成功への期待が表明されている。

3. 評価

しかし、このように明るい展望に満ちた内容とは裏腹に、BRICsにおけるロシアのポジションには不透明感が漂っている。ロシアは4カ国の中で国際金融危機の影響を最も受け、経済の近代化を国家目標として掲げながらも資源頼みの経済からの脱却は一向に進まず、「BRICsからのロシアの脱落」、「BRICsからBICsへ」が公然と語られる状況となっている。

今回第2回 BRICs サミット開催に合わせてメドベージェフ大統領が今回の文書を公表した背景

には、ロシアが上述のような BRICs 内部におけるロシアの立場の変化を感じ取っているため、改めてロシアの改革の成果を誇示し、BRICs 諸国の協力のメリットを強調することで BRICs を利用して国際社会で高い地位を占めようという従来のロシアの狙いを改めて示すという目的があるものと考えられる。

本日から開催される BRICs サミットにおいてロシアの目論見に他の3国がどのように対応するか成果が注目される場所である。

以上

【抄 訳】

2010年4月15日、16日にブラジルで開催される BRICs サミットは歴史が浅いフォーラムであるが、発足以来国際的な認知度は飛躍的に高まっている。これは特に驚くべきことではない。フォーラム加盟4カ国で世界の陸地面積の26%、人口の42%、GDPの14.6%を占めており、さらに最近では世界経済の成長増分に占めるシェアは50%を超えているのだ。

これらの国々の中でロシアはどのような位置を占めるのか。

国政経済危機の影響から回復する過程で、我が国は全般的な刷新の道を歩んできた。我々の主要任務は、持続可能な経済発展の達成と多様化した経済を基盤とする国民所得の増大、そして技術近代化とイノベーションの発展であった。我々は宇宙開発、省エネ、代替エネルギー・ITC・医療技術及び新医薬開発投資を増やしている。我々は鉱物資源加工のみならず農業生産開発も併せて重視している。私は BRICs のパートナー諸国が、これらロシアが積み上げてきた成果を高く評価することを確信している。

我々も他の同盟国のダイナミックな発展に大きな関心を持ち、これをまた高く評価するものである。BRICs 諸国の相対的競争優位には、多くの領域においてメリットがあり、相互協力を促進する機会が広く開かれている。そして既にそのようなメリットを活用し始めている。

ここにその例がある。最近モスクワで開催された会議においてロシア農相は、BRICs における食糧安全保障に関する共通のデータベースの構築、及び農業技術開発における協力促進を決定した。これらの技術は食糧安全保障に対する気候変動の影響の緩和と農業の変革の促進につながるものである。

さらに、核エネルギー、航空産業、宇宙探査、ナノテクノロジー等の領域における多国間協力の広範な機会も存在する。このような協力の効果は BRICs 諸国による財政的共同措置、特に相互の貿易決済に BRICs 諸国の通貨を使用することでさらに促進されよう。

我々は、通貨、株式及び商品市場における投機的攻撃に関する情報交換等、共同の経済安全保

障措置も極めて重要であると考えている。

我々は BRICs 諸国の協力関係を質的に新しい段階へと進めようとする議長国ブラジルの努力に感謝する。BRICs 諸国は最近数多くの財務相、安全保障関係閣僚及び開発銀行による有意義な討議を行った。その中で特に重要なことは、ビジネス界及び市民社会の関与する協力が拡大していることである。先日 4 カ国の商業銀行トップの会合やビジネスフォーラム、科学・技術研究センター会議がブラジルで開催されている。

2009 年 6 月 16 日の第 1 回 BRICs サミット以来、我々はサミットで決定された多くの領域について良いスタートを切ることができるよう努力してきた。我が国は、今や世界経済ガバナンスの新しいシステムを確立するための主要な国際協力メカニズムとなった G20 に積極的に参加してきた。ピッツバーグ G20 首脳会議では BRICs 諸国が協力したおかげで新興国及び開発途上国のために IMF における 5%投票権と、世銀における 3%の投票権を獲得することができた。我々は G20 参加国が G20 の活動に平等に参画できるような明確な「ゲームのルール」確立を主張してきた。

さらに、BRICs 諸国は長年の懸案であるブレトン・ウッズ体制の刷新を推進してきた。そして世界金融危機後の「G20 アクションプログラム」の策定についても BRICs4 カ国が共同歩調を取って行くことができると考えている。

多極化する世界において経済的基盤を強化することにより、BRICs 諸国は国際的な安全保障強化の条件形成に貢献することが可能である。国際紛争は軍事力の行使ではなく、政治的、外交的、法的手段によって解決すべきであるという規範は国際社会によって共有される。国際社会における集団主義的原則を強化し、公正で民主的な世界秩序を形成することが必要である。

ロシア、中国、インド、そしてブラジルは国連内部で積極的に協力している。その最も重要な例は 4 カ国が宇宙における武器使用と宇宙施設に対する武器使用及び威嚇の禁止に関する決議案を国連総会において共同で提案したことである。

私は BRICs4 カ国の協力には偉大な未来が開かれていることを確信している。我々の協力は始まったばかりだが、BRICs のフォーマットにおける我々の対話－信頼性があり相互互恵的なパートナーシップ関係－によってこの前途有望なフォーラムの成功を期待することができる。

以上